

平成30年度 足立区立栗島小学校 学校経営方針

校長 八木 雅治

【目指す児童像】

『輝く未来に向かって歩める児童』

- 自分の夢をもち、努力できる意志のある児童
- 社会の一員として自立し、貢献する資質を備えた児童
- 「自己肯定感」・「自校肯定感」の高い児童

【本校の教育目標】

『自立と貢献』

- 「選ばれる学校」学校選択率80%以上へ
- 質の高い知・徳・体の定着
- 児童・保護者・地域目線の学校運営

【目指す教師像】

「組織の一員として共通実践し教育活動の向上を実現する教師」

- 児童を尊重し、よく分かる魅力ある授業創りに尽くす教師
- 学校組織の一員として「組織感覚」を有し、職責を果たす教師
- 常に切磋琢磨し、人間性豊かな児童から信頼される教師

【視点1】『教育活動の充実』

イベント、交流活動、メモリアル、改修工事等、教育活動全般に向けた取り組みや準備と反省をしっかりと行い、児童が自信をもって取り組めるようする。

【視点2】『知・徳・体の育成』

本校児童の学力の定着・向上、思いやりの心の育成、健康な体づくり等、保護者や地域と連携を図り、教育活動を一層充実させる。

【視点3】『学校組織の運営改善と資質向上』

職層を生かした効率的な組織運営を行うことで、OJTや研修の時等を確保し、教師としての資質を向上させる。

【達成目標】

学校関係者評価、自己評価等の「目標・生活・行事」に関する項目の肯定的評価の割合80%を目指す。

【達成目標】

学校関係者評価、自己評価等の「学習」「健康な体づくり」に関する項目の肯定的評価85%、「生活」に関する項目の肯定的評価80%を目指す。

【達成目標】

学校関係者評価、自己評価等の「教師・授業」に関する項目の肯定的評価の割合80%を目指す。

【取組の例】

- 学期に1回ずつは、児童の目標となる学校行事やイベントなどの会を実施する。
- 保護者・地域と連携した取組には、児童も教職員もできる限り参加しようとする雰囲気を作るが、無理をすることなく実施する。
- 栗島中学校の生徒との授業交流、水泳記録会、連合運動会、鋸南・日光移動教室での行事交流を実施する。
- 開校65周年に関するイベントを計画的に実施すると共に、メモリアルとしての記録や記憶を整理する。
- 改修工事は、区教委との連携を密にとりながら、日々の教育活動に極力支障をきたさないように、見通しをもって計画的に実施していけるよう助言していく。

【取組の例】

- 教員が互いの指導や授業に関心をもち、日常の授業参観をとおして、互いが刺激を受け合いながら日々の指導を考えていけるようにする。
- 学力の定着度を学期ごとにワークテストの平均点で見えていく。学力調査だけでなく単各教科の単元やまとめテストでも正答率80%を目指す。
- 昨年度のスポーツテストの課題と投の運動を体力づくりの年間計画に位置づけ、年間を通して計画的に進めていく。
- Q-U調査、いきいき度調べや立腰姿勢等を活用して、好ましい人間関係・生活習慣について家庭と考えていく。

【取組の例】

- 知・徳・体・交流の4つの活動を意識して行うために、教務・生活指導・研究・特別活動・体育を中心に、企画・立案・実施・評価・改善に取り組めるようにする。
- 特に知に関する取組では、学習習得の確認の結果を受けて、改善策に取り組み、2月の再調査で8割以上の項目で区を上回るようにするため、PJを中心に企画・立案・実施・評価・改善に取り組めるようにする。
- 徳は「あいさつ」、体は「3快運動」について各係等で取り組んでいく。
- 事案によっては、合同学年会、職員連絡会、主幹会議で適宜話題にし、教員の学びに対する意識を高めていく。